

優秀ポスター賞受賞者インタビュー 03



近藤 勇人

医学系研究科
博士課程4年

◆研究内容について教えていただけますか？

私は、脳が認知機能を実行する神経メカニズムに興味を持っています。現在は、マウスが種々の認知活動を行っている際に、特に内側前頭前野と呼ばれる脳領域の活動がリアルタイムでどのように変わるのかということを生きた脳から光学イメージングによって計測し、解析する研究を行っています。

◆この研究分野に興味をもたれたきっかけなどありましたら教えてください。

学部生だった頃、海外には脳の仕組みについて学ぶ神経科学部が存在することを知り、当時テキストの一つであったEric Kandel博士の『記憶のしくみ』を夢中になって読みました。その際、神経細胞ネットワークに記憶が形成され、長期にわたって保存される機構に心を動かされ、次第に自分も神経科学の謎に挑戦してみたいと思うようになっていきました。

◆今回発表した内容はどれくらいの期間で行ったものですか？

博士1年次から始めて約3年3ヶ月で行いました。

◆研究を進めるにあたって、特に苦労した点を教えてください。

ラボで誰もやったことが無い実験系を立ち上げるのは手探りの部分が多く、今思えば大変だったように思います。ただ、失敗の中に必ずヒントがあると思い改善を繰り返して身に付けた手技は今では自分の強みになっていると思いますし、研究の楽しさの一端に触れられた気がします。

◆ポスター作成、発表において工夫した点などありましたら教えてください。

ポスターの作成に関してはメインのストーリーと関連の薄い図はパワーポイントなどで別にまとめておき、全体のストーリー上重要な図を大きく優先して載せることを意識しました。発表に関しては、聴き手が自分の実験をイメージしやすいように、

例えば、実際に計測した神経活動の動画などはすぐに見せられるよう準備をしていました。

◆研究を進めるにあたって気をつけていることを教えてください。

その日の実験に集中しつつ、中長期的な視点で研究を捉えることも大切にしています。今行っている実験が上手くいくことが大事ですが、この研究を長い目で見た時にどう進めたいか、何をすればもっとインパクトが大きくなるか、技術的な障壁は何かといった事を考えながら非線形な成長を心がけています。

◆今回ポスター発表をして、良かった点、改善してほしい点があれば教えてください。

生命科学という広い範囲での発表会でしたので、離れた分野で研究を行っている友人と旧交を温めたり、類似分野で研究している方と新たに知り合えたり、とても良い交流の機会になりました。

◆これから発表される方にアドバイスがあればお願いします。

アドバイスできるような立場ではありませんが、5～6分という短い時間で研究を余さず伝えるのは容易ではないと思います。私の場合は、まず自分の興味は何か、研究の目的は何か、ということを決める20秒くらいで伝えるようにしていました。どのくらい研究の詳細が伝わるのかはさておき、興味や目的は専門外の方でも理解しやすい部分だと思っています。お互いの共通理解の部分を作ってから発表に入るとスムーズに議論が生まれるのではないかと思います。

◆将来の夢（目標）を教えてください。

今回の発表内容よりもさらに深いレベルで脳の認知機能に関する神経メカニズムを理解していきたいと思っています。今後も国内外を問わず、関連分野の研究者や関係者の方々とたくさん議論を交わしていけたら嬉しい限りです。